

このままでは 酪農・畜産が消えてしまう



畜産の灯を消すな！

農民連は、2022年から全国の畜産農家のみなさんから集めた声を政府や国会に届け、農水大臣は「必要な支援を検討する」と回答しました。



【写真】2022年10月22日 農水省にて

政府は畜産支援の強化を！

農民連は要求します

一、従来の政策の枠組みにとらわれず、生産コストの上昇分を補てんする抜本的な対策、今後の資材高騰に備えた支援策、国産飼料の生産を拡大するための支援強化策を講じてください。

一、飼料価格などの生産コストの上昇を価格に転嫁できる仕組みを講じてください。

を政府に求めます。

農民連は、酪農・畜産農家を離農させないための本気の対策

酪農家戸数は、23年は前年比5.3%減、24年は2月1日現在で5.6%(700戸)と減少が拡大し、この10年では最大です。養豚戸数は、3130戸(2月現在)で前年比7.1%も減少しています。これでは日本から酪農・畜産が消えてしまいます。生産の衰退は深刻な国民の食の危機です。

離農させない本気の対策を

畜産農家は、国民に安全で新鮮な畜産物を安定供給し、地域経済を支えています。政府の支援策も受けて経営を維持する努力を続けてきましたが、高止まりしていた飼料価格の再上昇をはじめ、燃油や資材、機械価格が上昇して生産コストが高騰し、かつてない経営危機に直面しています。

かつてない経営危機



農民連

● 農民運動全国連合会
農民連ふるさとネットワーク

〒173-0025 東京都板橋区熊野町47-11 社医研センター 2F
TEL : 03-5966-2224 FAX : 03-5966-2226 E-mail : info@nouminren.ne.jp